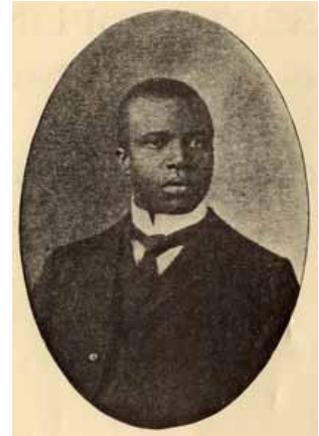


ジャズ・ピアニストの紹介

スコット・ジョプリン(1868-1917)

Scott Joplin. 1868年11月24日、アメリカのテキサス州・テキサス・カナで生まれる。奴隷の息子で、音楽好きの父親の影響を受け、独学でピアノを勉強する。売春宿のパーラーでラグタイムを演奏する。晩年は、ラグタイム・オペラを手がけ、クラシック・コンポーザーとしても活躍するが、病気で衰弱し1917年4月に逝去。1970年代にラグタイム・ブームが起こり、映画『スティング』でジョプリンの音楽が使用された。



作品

Collected Piano Works / Scott Joplin The New York Public Library, 1971 <G15-852>
題名の通り、スコット・ジョプリンの Rag Time 全曲が収められている。映画『スティング』で使われて有名になった(エンターティナー)他、某自動車メーカーの軽自動車 Lapin の CM で流れている(Pine Apple Rag)もある。

Noctuary / Richard Rodney Bennett Novello Publishing, c1992. <G29-153>
Scott Joplin の(Solace)をテーマに Richard Rodney Bennett が書いた変奏曲。

みんなのピアノれんだん 13 / スコット・ジョプリン名曲集 ヤマハ音楽振興会, 1994. <G25-424>

ピアノ曲以外

- ・Scott Joplin's Treemonisha / Vera Brodsky Lawrence. <F18-634>
ラグタイム・オペラを手がけている。
- ・Ragtime for chamber ensemble(Strings, winds or mixed) <H33-823>
金管楽器アンサンブルに編曲されている。

Happy Birthday の曲とエンターティナーをミックスした作品もある。

- ・Happy birthday dear Eliza / Beethoven & Scott Joplin. <G22-910>



Original piano rolls, 1899, 1916 / Scott Joplin
自作自演のピアノ・ロール <XD7621>
Rag time cembalo / 中野振一郎
チェンバロでの珍しいラグタイム演奏 <XD28952>
Piano Rags <XD18103>
リフキン・ジョシュア(p) オリジナルとはまた一味違う曲に聞こえる。
ジャーマン・プラス・デビュー <XD5130>
バッハなどを演奏するグループがラグタイムを演奏している。

スコット・ジョプリン(メイプルリーフラグ)楽譜の表紙

ジェリー・ロール・モートン(1885-1941)

Jelly Roll Morton, ニューオーリンズ生まれのクレオール。自称“ジャズの創始者”と自ら名刺に書き、1902年には「自分がジャズを発明した」と公言した。G7などコード記号の発明者であり、また歴史上初めて白人黒人混血で録音した人でもある。様々な楽器を演奏したが、最後はピアノに落ち着く。晩年は、偉大な作曲家・ピアニストであるにもかかわらず、仲間や評論家から反感を買い、ホラ吹き扱いされてしまう。



クレオールとは、白人と黒人の混血のこと。スペインとフランスが交互に統治していたルイジアナ地方の玄関口にあたる港町ニューオーリンズでは、あらゆる文化が混在していた。

作品

Jelly's blues / Howard Reich and William Gaines Da Capo, c2003. <J93-586>
ジェリー・ロール・モートンの人生と音楽について書かれている。真ん中に写真あり。モートンの家族の写真、シカゴでのバンド仲間レッド・ホット・ペッパーとビクターでのレコーディングの様子、モートンのサインや名刺、最後に住んでいた家、遺言書、死亡証明書など。

Dead man blues / Phil Pastras University of California Press, <J100-121>
ジェリー・ロール・モートンの生涯が書かれている。メキシコで働くためのビザの写真、ライブのフレイヤー、Harlem-The Crescendo Club in NY、切抜帳、新聞記事、バンダービルドクリニックの予約表、結婚契約書。他、上記の本「Jelly's Blue」の中の写真と重複している。

The collected piano music Smithsonian Institution Press : G. Schirmer, c1982 <G16-299>
映画「海の上のピアニスト」のピアノ決闘シーンで弾いた曲(The Crave) (Finger Buster) などブルース要素が強い作品が多い。

Blues and rags from piano roll, 1924/25 / Jelly Roll Morton <XD5130>
ピアノ・ロールから録音した自作自演のCD。残念ながら、「海の上のピアニスト」で演奏した曲は収められていない。

映画「海の上のピアニスト」 <VB2840>

映画自体の音楽担当は映画音楽界の巨匠、エンリオ・モリコーネですが、スコット・ジョブリンやジェリー・ロール・モートンの曲が出てくるので、どの場面で何の曲が演奏されているかを簡単にまとめてみました。主人公1900がジェリー・ロール・モートンとピアノ対決するシーンは必見！

TIME	SCENE	MUSIC TITLE
0:22	1900 が 8 歳の時に初めてバンドピアノを聞く	(Peacherine Rag) Scott Joplin
0:37	27 歳、バンドピアノから暴走 JAZZ	
0:41	タランテラのリズムを聞いただけで、即興でメロディーを付け作曲演奏する	
0:46	アコーディオンおじさんと話しながら心行くままにBGM = アドリブ演奏	
0:49	ある特定の人物の生い立ちや性格などを勝手に創造しながら溢れる音楽 = 創造音楽	
0:55	ある日突然「10 種類以上のJAZZを弾く男か？」とバンドマンが訪れピアノの決闘を申し込まれる	1 曲目 (?) VS (きよしこの夜)
	Jelly Roll Morton 登場！売春宿のピアノ弾きと説明される。	2 曲目 (The Crave) VS (同曲) 3 曲目 (Finger Buster) VS (4手?)
1:15	LP にレコーディング	(愛を奏でて) by.エンリオ・モリコーネ

セロニアス・モンク(1917-1982)

Thelonious Monk. ノース・キャロライナ州ロッキー・マウントのレッド・ロウで生まれた。1923 年にはニューヨークに引越し、生粋のニュー Yorker として育つ。ストライド奏法に魅了され、11 歳で近くの音楽院で音楽理論を学ぶ。教会でオルガンを弾いたり、パーティーで演奏するようになり、ミュージシャンを目指す。ブルーノートの専属アーティストとして活躍。奇行のエピソードがある。取材や打ち合わせに遅刻をするのは当たり前で、リハーサルには顔を出さない。そして本番中に舞台を歩き回っていたらしい。ノっている証拠なのだから。1982 年 2 月 17 日、脳出血を起こして世を去る。享年 64 歳。



作品

セロニアス・モンク ローラン・ド・ウィルド著、水野雅司訳
音楽之友社、1997。<C62-271>

Laurent de Wilde:MONK(L Arpenteur, Gallimard, 1996)の全訳。
モンクの生涯がユニークに書かれている。

Thelonious Monk / [selected and edited] by Stuart Isacoff
Amsco Publications, 1987, c1978 <G22-399>

Thelonious Monk '63 in Japan / セロニアス・モンク <VD1715>

チック・コリア(1941-)

Chick Corea. 1941 年 6 月 12 日、マサチューセッツ州チェルシーで生まれる。本名はアーマンド・アンソニー・コリア。チックとは、“ひよこ”とか子供の愛称で、彼の子供っぽい性格や体型からつけられたらしい。父親がスパニッシュの血を引くイタリアン・ジャズ・ミュージシャン。6 歳からピアノを弾き始め、21 歳でラテン・バンドに参加。マイルス・デイビスのバンドに参加。ソロも素晴らしいが、フリードリヒ・グルダとのモーツァルトのデュオ演奏や、ボビー・マクファーンリン(vo)など数多くのジャズメン達との共演で活躍中。



作品

チック・コリアの音楽 / 山下邦彦著 音楽之友社、1995。<C59-848>

チック・コリアが使うコード・モード理論を解説。ロドリーゴの(アレンフェス協奏曲)のメロディーを使った(Spain)などの自筆譜もある。

Chick Corea for piano solo / arranged by Chick Corea Schott, c1996 <G26-597>
(スペイン)などが掲載されている。

Rendezvous in New York / チック・コリア。 VE554

チック・コリアの 60 歳のお祝いに、ブルー・ノートで 3 週間に渡りライブを行った。

キース・ジャレット(1945-)

Keith Jarrett. 1945年5月8日ペンシルヴァニア州アレンタウンで、ドイツ人の血を引く父とハンガリーの血を継いだ母の間に生まれる。3歳の時からピアノを始め、同時にドラムとヴァイヴも学ぶ。7歳で初めてのソロ・コンサートを開く。パークリー音楽院に通い、ニューヨークに進出。マイルス・デイヴィス・グループに1年半在籍。ソロ・インプロヴィゼーションは高く評価されている。キース・ジャレット・トリオも名高いが、クラシックの録音もたくさんある。2003年、王立スウェーデン音楽アカデミーが定めるポラー音楽賞の受賞者に選ばれた。



作品

キース・ジャレット 音楽のすべてを語る / キース・ジャレット(述) 立東社,1989.<C48-565>
1988年11月1日から11月4日の4日間にわたる自宅でのインタビューが写真付きでまとめられている。ピアノ・トランスクリプション(楽譜)も掲載されていて、巻末には、ディスコグラフィ、往復書簡、引用文献リスト、インデックスがある。

Keith Jarrett / by Yasutoshi Inamori. Vol 1. Chuo Art Publishing <G21-983>
完全コピー・シリーズ2. 「Standards vol.1」「Standards vol.2」「星影のステラ」の3枚のレコードより曲を厳選して採譜し分析してある。

The Koln concert / Keith Jarrett Schott, 1991.<G23-181>
ケルン・コンサートの演奏を忠実に採譜。

Standards vol.1 / キース・ジャレット<XD19764>

Standards vol.2 / キース・ジャレット<XD1069>

Standards / キース・ジャレット<VD3557>

Standards / キース・ジャレット<VD3556>



スコット・ジョプリン(エンターティナー) 楽譜表紙

その他のピアニストの資料紹介

山下洋輔

ピアニストを笑え! / 山下洋輔 昌文社, 1976. <C29-082>

山下洋輔2作目のエッセイ集。山下洋輔トリオが初めてヨーロッパに乗り込んだ時の話。

ドオン! / 山下洋輔 福音館書店, 2002. <J101-511>

インスピレーションが沸いてきそうな文章に、かわいいイラストがついている絵本。

Sakura / 山下洋輔 <XD26879>

(さくら) や(七夕) など、日本の曲をアレンジ

ファッツ・ウォーラー

9 refrains populaires d'Amerique / interpretes a la maniere moderne

Salabert, c1938. <G23-134>

ファッツ・ウォーラーのアレンジ楽譜。

ナット・キング・コール

Nat "King" Cole Creative Concepts, c1978 . <F22-132>

弾き語り用に歌詞が掲載されていて、ピアノ伴奏付。缶コーヒー「BOSS」のCMで使われている曲(L-O-V-E)の楽譜も。他にも、娘のナタリー・コールがカバーして歌っているの、なじみがある曲が多いはず。

コンプリート・アフター・ミッドナイト / ナット・キング・コール <XD13899>

バッド・パウエル

Bud Powell / [edited] by Clifford Jay Safane

Consolidated Music Publishers, c1978. <G22-440>

ジョージ・ガーシュウィン

Gershwin jazz interpretations Warner Bros, [1983?]. <G24-766>

クラシック作曲家がラグタイムやジャズを作曲している。

ラグタイム / イゴール・ストラヴィンスキー Zen-on Music, [1975?] c1920 <G16-401>

(春の祭典)でもおなじみのストラヴィンスキーが、ラグタイムを作曲している。

Ragtime / ストラヴィンスキー <XD35012>

Tahiti trot ; Suite no.1 for jazz orchestra / ショスタコーヴィッチ

ジャズのスタンダード・ナンバー(Tea For Two 二人でお茶を)を1時間以内にオーケストラレーションするよう依頼され、40分の楽曲に仕上げた(Tahiti tarot)がある。バレエ音楽(黄金時代)の第3幕にも引用されている。他(ジャズ組曲第1番)。 Zen-On Music, 1997 <E13-572>

Suite for variety stage orchestra / ショスタコーヴィッチ Zen-On Music, 2003

<E14-125>

(ジャズ組曲第1番)に続き、(ジャズ組曲第2番)と(ステージ・オーケストラのための組曲)

JAZZ MUSIC / ストラヴィンスキー <XD30665>

(ジャズ組曲第1番と第2番)(Tahiti tarot)が演奏されている。

Piano sonata no. 9, op. 78 / ニコライ・カプスーチン Tri-M, 2002 <G29-181>

弾きやすい JAZZY なピアノ楽譜紹介 ジャズに触れてみよう!

子供向けの教則本・連弾/クラシックやポピュラーのアレンジ楽譜など
先生と生徒のれんだんコンサート. Vol. 8, こどものジャズ名曲集

ヤマハミュージックメディア, 1998. <G27-544>

ジャズスタイル・ピアノ曲集 / ギロック 全音楽譜出版社, 1997 <G26-906>

Jazz & blues / David Kraehenbuehl Summy-Birchard, c1963 <G13-308>

Microjazz piano duets / Christopher Norton Boosey & Hawkes, c1984. <G19-714>

クラッシー・ジャズ・ポケット / グレンダ・オースティン 全音楽譜出版社, 1998. <G29-790>

ピアノ・アゲイン / 編・著 HIROSHI ~ 吉田洋 ショパン, 1996. <G26-218>

Jazz piano Beatles Shinko Music, 1992. <G28-168>

Beyer in jazz YAMAHA Music Media, 1996. <G29-225>

Bach in jazz YAMAHA Music Media, c1994. <G29-224>

Mozart in jazz YAMAHA Music Media, 1997. <G29-230>

Chopin in jazz YAMAHA Music Media, 1994. <G25-234>

Disney in jazz. vol. 1 / 編曲 藤井英一 YAMAHA Music Foundation, 1992. <G24-151>

Disney in jazz. vol. 2 / 編曲 藤井英一 YAMAHA Music Foundation, 1992. <G24-152>

Famous classic in jazz / 編曲 藤井英一 YAMAHA Music Foundation, 2003. <G29-395>

中島みゆき作品集 / 編曲 神山純一 Edition Kawai, 1993. <G29-457>

日本のうた / 坂元輝編・著 中央アート出版社, 1989. <G22-750>

ジャズ風クラシック / 野呂芳文編 ドレミ楽譜出版社, 2002. <G29-278>

Blue classic.1 / 編曲 稲森康利 中央アート出版社, 2003 <G29-657>

・ Blue classic : 2 巻 <G29-658> , 3 巻 <G29-691> , 4 巻 <G29-699>



初心者向けの CD 付楽譜などを紹介

テルさんのすべての楽器に使えるジャズ・アドリブ・ワークブック / 坂元輝著

音楽之友社, [1980] (Jazz masters series ; v. 7-8) <H21-692>

テルさんのジャズ・ピアノ・ワークブック / 坂元輝著

音楽之友社, [1979] (Jazz masters series ; v. 5-6) <G11-403>

プレイ・ザ・ジャズ・ピアノ. Vol.1 / 稲森康利編・著

中央アート出版社, 1991. (キャップ CD シリーズ ; 4. コンテンポラリー・ジャズ・シリーズ) C54-984

ジャズピアノのコード進行基本の基本 川島茂著 中央アート出版社, 2003. <J98-851>

ジャズピアノのコード進行基本の応用 <J98-934>

モダン・ジャズ・ピアノ・レッスン. v.1 中島久恵著 ドレミ楽譜出版社, 2002. <J97-406>

モダン・ジャズ・ピアノ・レッスン. v.2. <J98-256>

ジャズ・ピアノ First Step 稲森康利著 中央アート出版社, 2001. <J96-348>

ザ・ジャズ・ピアノ. 上巻 小谷教夫編著. 改訂新版

CD 付 リットーミュージック, 1998. (ジャズ・マスター・シリーズ) <C65-617>

はじめてのジャズ・ピアノ・トリオ. カラオケ CD 強化編 / 宮前幸弘著

リットーミュージック, 2003. <J100-747>

ジャズ・スタンダード曲

Jazz piano solo collection. [1] / by Norihiko Wada

Doremi Music, 1992. (Piano solo library) <G24-146>

Jazz piano YAMAHA Music Foundation, 1993. <G25-407>

Act in jazz Tokyo. <G20-567>

Cookin' jazz. Vol. 1, Stella by starlight ; Cleopatra's dream

いわゆるスタンダード・ジャズ YAMAHA Music Foundation, 1992. <G23-708>

・ vol. 2 <G23-709> , vol. 3 <G23-710> , vol. 4 <G23-711> ,

vol. 5 <G23-712> , vol. 6 <G23-713> , vol. 7 <G23-714> ,

vol. 8 <G23-715> , vol. 9 <G23-716> , vol. 10 <G23-717>



ジャズ・ピアノに関する本の紹介

ジャズ・ピアノの歴史 / ビリー・テイラー著 音楽之友社, 1986. <C21-003>

著者自身がジャズピアニスト奏者ビリー・テイラー。歴史と共に、スタイルごとに曲の構成特徴などを説明。譜例付。巻末には、ジャズピアニスト一覧があり、時代・場所・スタイルに分けられている。

ジャズの歴史 / 油井正一著 東京創元社, 1957. <C31-055>

雑誌「ミュージック・ライフ」に掲載。主にトランペットやホルネットの演奏者について。

ジャズ・ピアノ / 油井正一 新潮社, 1989. <C48-217>

ジャズ・ピアノの推薦盤 309 枚を解説している。40 年以前、40 年代～50 年代、60 年代、トゥデイ & トゥモロウの4つに分かれていて、そこから人別に紹介。

映画とジャズ / 和田誠編著 ビクター音楽産業, 1992. <C56-973>

ラグタイム、ニューオーリンズ、ジャズの語源について。どの映画で誰が何を弾いたか。写真付。コレクションにポスター・ジャケット・ロビイカードあり。公開題名/原題、年、監督、主演、音楽監督、主題歌、主題歌の歌手(演奏者)登場ジャズメンの一覧。

ジャズ・ピアノ決定盤 / 佐藤秀樹著 音楽之友社, 1994. <C59-198>

70 人の個性派ピアニストの解説と伝記。一人あたり2～3ページ。

JAZZ ものしり雑学事典 / 岩浪洋三監修 スイングジャーナル社, 1987. <C61-565>

昭和 62 年スイングジャーナルの別冊。少々古いが、内容はタイトルの通り雑学であふれていて読みやすい。CD のうんちく講座もある。なんでも No.1 編も。また、JAZZ 用語、基礎知識音楽用語の説明もわかりやすい。インデックスあり。

ポートレート・イン・ジャズ & ポートレート・イン・ジャズ / 和田誠・村上春樹

和田誠の絵に村上春樹がエッセイをつけた。97 年に開かれた SING という展覧会で 20 人が取り上げられ、本誌は 6 人追加の 26 人が LP 盤と共に紹介されている。同名タイトルのアルバムがビル・エヴァンス・トリオの代表作としてある。エッセイを書いた村上春樹氏もジャズ好きで、著書「ノルウェイの森」の中でもビル・エヴァンスが出てくる。

ポートレート・イン・ジャズ: 新潮社, 1997. <C62-407>

ポートレート・イン・ジャズ. 2: 新潮社, 2001. <C65-630>

実用ジャズ講座. 2, アレンジ編 北川祐編 リットーミュージック, 1986. <J65-822>

装飾音・リズムやフレーズの作成・コードのアプローチが音楽理論と共に譜例つきで解説されている。

クイズ音楽!常識!非常識? ジャズ編 / 齋藤實著 ヤマハミュージックメディア, 2002 <J97-407>

名前の通り、クイズ形式の読み物。200 問ある。3 択から答を選び、解説がある。例えば、ビル・エヴァンスの「ワルツ・フォー・デビイ」のデビイは誰? など。最後に ×クイズもあるのでチャレンジしてはいかが? 200 問のアイテムのアルバム紹介リストもついている。ジャズ・スタイルの変遷が 1900s ラグタイム時代から横棒グラフで表になっている。

なんちゃってジャズ・ピアノ / 斉藤修著 リットーミュージック, 2003. <J100-746>

難しい理論や理屈抜きに、誰もが知っている元になるメロディーに続いて和音を付けたりメロディーに音を増やしてリズムを変えてアレンジしたりと簡単にカッコよくジャジーに弾けるように工夫されている。CD 付なので確認しながら演奏できる。(AVE MARIA), (世界に一つだけの花), (ルパン三世のテーマ) などがある。

ジャズ・ピアノ入門 ジャズ批評編集部編 松坂, 2000. (ジャズ批評ボックス) <C64-940>

巻頭に、ピアニスト・ギャラリーが6つの PART ごとにジャケット紹介されている。簡単にジャズの歴史が書かれている。182 人のジャズ・ピアニストを、アルファベット順に16 人の執筆者が個別にガイドしている。

やさしいジャズ・ピアノ講座 / 西直樹著 日音, 1993. <C57-618>
(A 列車で行こう) (サテン・ドール) (オン・グリーン) の3曲を取り上げ、主題の弾き方、アドリブ、コードとスケールについての理論を譜例付きで説明している。

Jazz リクエスト・ノート / 寺島靖国著 講談社, 1989. <C48-401>
「ジャズの聴き方に法則はない」という筆者が名盤を語る。巻末に、「ピアノ・トリオを聴く40枚」「ソロ・ピアノ愛聴盤8枚」などが紹介されている。

ジャズ・ヒーローズ・イン・ジャパン / 米田泰久写真 共同通信社, 1996. <C61-195>
1966年-1996年来日ジャズメンの写真。日本と寄り添ったジャズ100選アルバムも列挙されている。

辛口 jazz ノート / 寺島靖国著 日本文芸社, 1987. <J65-772>

ジャズ・ピアノ・トリオ名曲名盤 スイングジャーナル社, 1994. <C58-725>

ジャズ100年史 / ロイ・カー著 パーン・コーポレーション, 1999. <C63-799>



ジャズに関する雑誌

ジャズ批評 <P0765>

1967年から現在まで。最新号は雑誌コーナーにある。

ジャズ・ライフ <P1295>

1977年から。最新号は雑誌コーナー。

スイング・ジャーナル <P663>

最新号は雑誌コーナー。

Jazz <P840>

1969-77。

Jazz magazine <P761>

1977-78。上記の雑誌 JAZZ の継続後誌。

Keyboard magazine <P819>

今まではロック系が多かったが、最近はジャズも取り上げられるようになった。

Piano style <P5431>

Vol.1-vol.4 はムックとして図書で発売されていたが、vol.5からは季刊雑誌で刊行されることになった。譜例もついてるし、解説も楽しめる。



ミニコメント<豆知識>

OPACで資料を探すときは、姓名の順で入力しましょう。
Bill Evans Evans Bill(または、エヴァンス ビル)。
また、ジャズに関する資料は、タイトルに「ジャズ」と
入力してフレーズ検索するか、件名に「ジャズ」と入力
するのも有効です。

ジャズに関係のあるお薦め AV 資料

DVD/ビデオ/レーザーディスク

Bach to Bach / ジャック・ルーシエ <VD2294>

バッハをジャズにアレンジ。

山下洋輔のジャズの掟(オキテ) ~ アドリブ入門1週間 ~ <VB2559>

Celle(カジェ)54<VE678>

マンハッタン54丁目のラテン・ジャズ・ドキュメンタリー!

Take the "A" train / 木住野佳子<VE161>

スウィング・バッハ(バッハ没後 250 年祭)

ボビー・マクファーリンとジャック・ルーシエの夢の初共演! <VE540>

Piano Legends(巨人たちの遺産 ピアノ・レジェンド)<VD1288>

Sacret story / パット・メセニー <VE687>

映画「グレン・ミラー物語」<VE504>

映画「ベニー・グッドマン物語」

テディ・ウィルソン(P)他大勢のゲスト・ミュージシャン登場。<VE505>

CD

The art of the trio. Vol. three, Songs / ブラッド・メルドー <XD41727>

Solo, live in New York / チューチョ・バルデス <XD49944>

Vocal classics & instrumental classics/ナット・キング・コール・トリオ <XD17118>

Digital Duke / デューク・エリントン <XD4019>

(A 列車で行こう)は何回聴いても飽きない。

Modern jazz piano <XD16351>

ROKOKO JAZZ / オイゲン・キケロ <XD53375>

ROKOKO JAZZ / オイゲン・キケロ <XD53460>

(キラキラ星変奏曲)など楽しいアレンジ

Dear Oscar / 小曾根 真 <XD41730>

Mr. Wilson / テディ・ウィルソン <XD30623>

This is Bobby Timmons / ボビー・ティモンズ <XD30623>

Moanin +1 / アート・レイキー <XD30623>

G 線上のアリア / ジャック・ルーシエ <XD2689>

Autumn in seattle 西城秋色 / 山本剛 <XD53461>

(サウンド・オブ・ミュージック・メドレー)が面白い

ノルウェーの森 / ヨーロピアン・ジャズ <XD13796>

ジャズ・スタンダード・ナンバー曲集

哀愁のヨーロッパ / ヨーロピアン・ジャズ <XD53450>

幻想のアダージョ / ヨーロピアン・ジャズ <XD53451>

天空のソナタ / ヨーロピアン・ジャズ <XD53452>

Voice / 中本マリ <XD15635>

ピアノ伴奏の本田竹曠は国立音大の卒業生

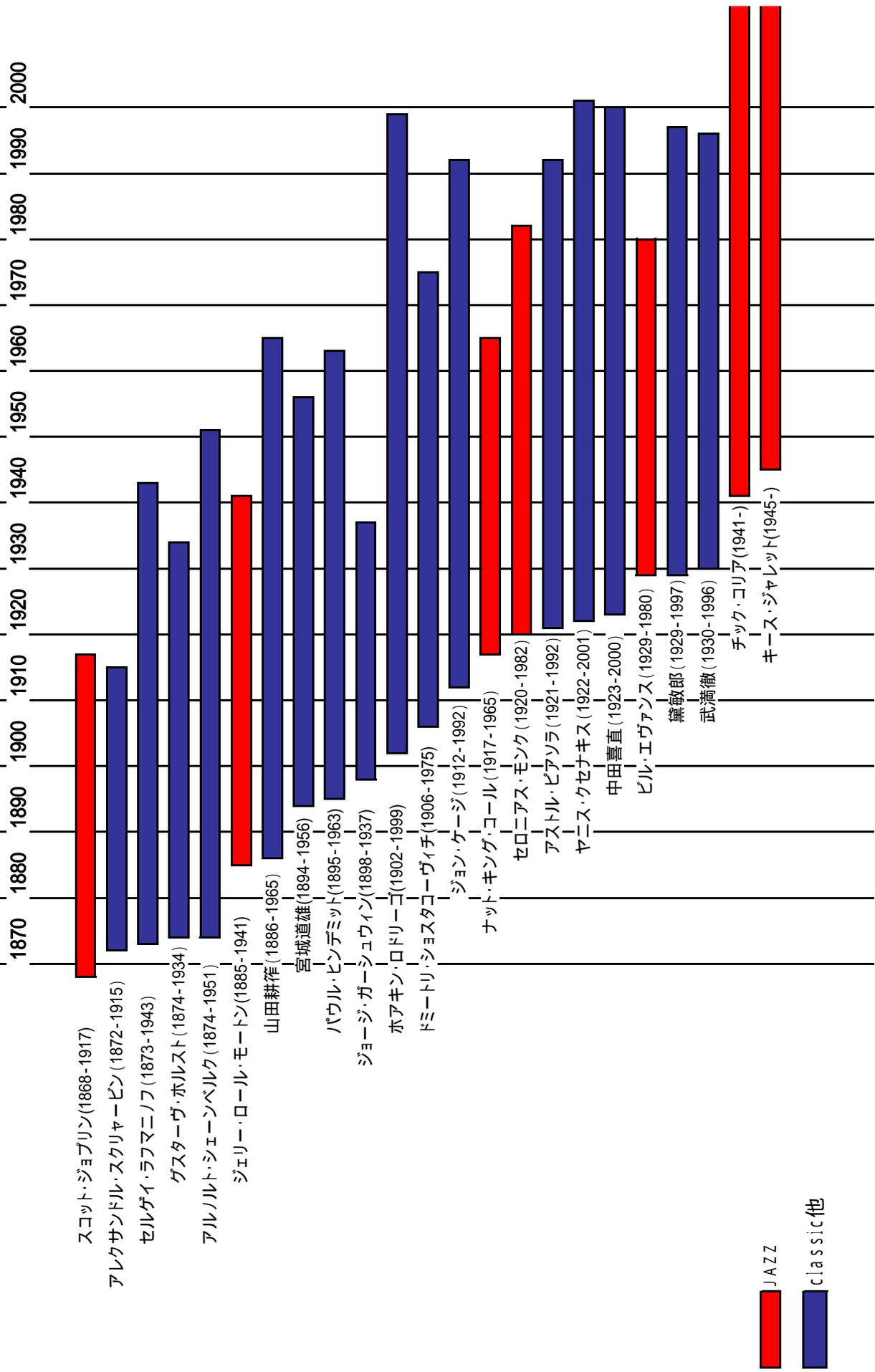
ノルウェーの森 / 長谷川陽子・ブルース・スターク <XD41357>

(ワルツ・フォー・デビー)をチェロで演奏している。ブルース・スタークの編曲も面白い。

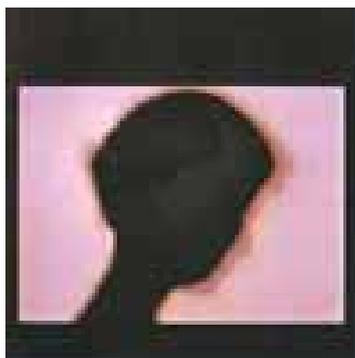
try try try / 小原孝 <XD41691>

(As time goes by)は映画「カサブランカ」で黒人ピアニストのサムが弾いている。

JAZZとCLASSICの作曲家の年表比較



図書館展示 2004.7.7-8.4



ビル・エヴァンスを入りに
ジャズ・ピアノを楽しもう!

国立音楽大学附属図書館 2004.7.7
編集 広報委員会(染谷周子・高田涼子)